



勤労の尊さ

校長 野村 佳史

10月29日(金)は、大隅地区研究協力校及び曾於地区へき地・小規模校教育連絡協議会の研究委嘱公開を開催し、2年生と3・4年生が公開授業を行いました。30名を超える参観者がありましたが、本校の教師の指導力の高さ、子供たちの学びに向かう態度や互いに学び合う姿勢など、たくさんのお褒めの言葉をいただき、大変うれしくなりました。当日は、受付や接待、駐車場の係など、保護者の方々にも御協力をいただき、盛会のうちに終えることができました。また、「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」や学習発表会では、多数の方々に御参観をいただきました。特に、学習発表会では、すべての子供たちが練習の成果を思う存分発揮することができ、その成長ぶりをご覧いただけただけではないかと思えます。保護者の皆様には、ここに至るまでの子供たちへの御支援、本当にありがとうございました。

さて、11月23日は「勤労感謝の日」でした。「勤労感謝の日」は、「勤労をたつとび、生産を祝い、国民がたがいに感謝しあう。」ことを趣旨としています。当たり前のことですが、**私たちの生活は働く人たちによって支えられています。**そこで、ふと、そのことを子供たちに分かりやすく説明した文章があったのを思い出しました。それは、かつて私が4年生の担任をしていたころ、国語の教科書に載っていた「一本の鉛筆の向こうに」という教材です。内容は、私たちが普段何気なく使っている鉛筆にも、多くの方々の働きが関わっているということが書かれたものでした。そこには、スリランカの鉱山で黒鉛を砕いている人、アメリカの山で木を切る人、そして、切り倒された木を製材所に運ぶトラックの運転手、山形県の鉛筆工場で塗装の仕事をしている人が登場していました。思い出した方もいらっしゃるのではないのでしょうか。もちろん、登場人物の背後にも多くの方々が働いていることは言うまでもありません。鉛筆を作り上げるだけでも数え切れないほどのたくさんの方々の働きが関わっていることになりま。そして、働いている人々は、働いて得た収入をもとに生活を営んでいきます。「一本の鉛筆の向こうに」に出てくる方々にも家族がいて、働いた収入で家族とともに生活している様子も書かれていました。

いつかは、子供たちも社会に出て就業し、働いて得たお金でご飯を食べたり、服を着たりして、自ら生活を営んでいかななくてはなりません。ニートやフリーターが社会問題になっている今日、就労に関する教育を学校でしっかりと行っていかなくはならないと思っております。本校でもキャリア教育を実施し、子供たちに「夢と希望のある生活や将来を作り出していこうとする意欲や態度」「社会の中での役割や生き方を展望し、実現を図るために必要な意欲や能力」を育てていきたいと思えます。働くことは誰かの役に立つことでもあります。家での手伝いなどもとても重要な教育の一つと考えます。子供たちが勤労の尊さについて理解し、将来の日本の社会をしっかりと担ってくれることを願っています。



学習発表会



11月21日(日)に学習発表会を行いました。今年も感染症予防対策のため、保護者のみの参観となりましたが、たくさんの温かい声援を受けて、子供たちは一生懸命がんばりました。どの学年もいきいきと元気いっぱい発表できました。



1年 くじらぐも



2年 お手紙



全校 合奏:茶色の小びん



アンコール:みなさんご一緒に



3・4年 三年とうげ
~夕日とコラボ~



5・6年 タビオカ・ツンドラ

研究公開の様子 10月29日



研究発表



2年公開授業



3・4年公開授業



2年分科会



3・4年分科会



指導講話

火災避難訓練



11月17日に曾於消防署の方々に来ていただき、火災を想定した避難訓練を行いました。消火器の使い方や火災予防について学ぶことができました。



12月の行事予定と目標

- 3日(金) 家庭教育学級(工場見学等)
給食試食会・なわとび大会
PTA全体会・学級PTA
 - 7日(火) 修学旅行~8日
さんпей号
 - 9日(木) 修学旅行休養措置
 - 11日(土) 土曜授業日・親子読書活動
 - 17日(金) 素敵 good 給食の日
 - 19日(日) PTA 門松作り
 - 21日(火) さんпей号
 - 24日(金) 2学期終業式・大掃除
学級活動
 - 25日(土) わらじキーホルダー作り
- 生活目標
- 2学期のしめくくりをしよう
- 保健目標
- 教室の空気を入れかえよう

